

2014/1/2 初日の出 2014年元旦、ベランダから初日の出を望む。大阪はまずまずのお天気で年明け。風もさほど冷たくなく、おだやかな元日だった。今日もすごしやすく、散歩がてらに事務所へ来た。電車は空いていたが、デパートの开店時間あたりから混み合うはず。はや二日から街は動きだす。さてこの一年の世の中はどんな出来事、姿をみせるだろうか。よく見て、聞いて、感じ、考える。それを面倒がらないことを再確認。

2014/1/7 深紅のカバー 新年が明け、はや一週間。すっかりいつもの日常。今年は今のところまだ和服の晴れ着姿を見てない。昨日あたりは見かけてもよさそうなものを。見かけるといえば、昨日今日と電車内で妙な光景をみた。昨日は乗客間のトラブル。今朝は三人掛けの座席になぜかカバー。前者は何かの行き違いのようでもあった。後者は座席がやぶれたのか、何か損傷があったよう。それでもちゃんと座れるようにと安全ピンのようなものできれいにカバーを留めてあった。でも誰も座る人はいなかった。ベルベット地の深紅が異彩をはなっていたのだった。

2014/1/10 藪椿 日の入りが少しおそくなった。。五時を過ぎても窓の外がまだ明るい。大阪の日の出は明日から反転して少しずつ早まる。今日は大阪もとびっきり寒く、グランフロントの庭に人は見かけなかったが、藪椿にふくらみ始めた蕾を見た。人知れず刻々と進む季節。

2014/1/14 長岡天満宮



今日はまたとびっきり寒い。それでも白梅の木に小さな蕾。仕事を終えた足で、せっかくだからと寄った長岡天満宮。八条ヶ池ほとりに梅の木。キリリとした冷たい空気にほのかな彩り。池にそった参道から本宮へ進み、ざっとひと回り。なかなかよい立地。天満宮と一体のようにして建つ料亭。これが筍料理で有名なお店かと門前を通り過ぎた。本宮への石段わきには絵馬。「開運」の文字が縁起がいい。

2014/1/18 リニューアル

瞬く間に日が過ぎてゆく。1月31日の旧暦の元日までに済ませたい作業のいくつか、残り日数もわずかになってきた。そうこうするなか届いた案内状。2年前ちょっとした仕事で会った旅館店主から、リニューアルオープンの知らせがきた。どうやら思い通りのカタチになったよう。仕事であれ、なかれ、会わない間もがんばっていた姿を彷彿とさせられるのがうれしい。せっかくだから紹介しておこう。京料理旅館「井筒安」。満月の春夜に、ふらふら出かけてみたいもの。

2014/1/23 絵を描く人

何を描いているのかしら。昨日京都の地下鉄、ちょっと混みあった午後の車内。ハットをかぶり、ワインレッドのワークシャツが目についた。前に立った時、チラッとこちらを見た。顔つきは少々厳つい。縦長の小さな画帳を左手に持ち、立っている乗客の隙間から、どこかにチラチラ目を向け、しきりに右手を動かす。視線の先をそれとなく追う。とりたてて特徴的なことはなかった。何を描いているのか。画面が見えそうで見えない。ふと気づいて窓を見る。外が暗いから、窓にむかって持っている画面が映った。と同時に席を立つ準備を始めた。はっきり見えなかったが、人の立像の輪郭だけだった。京都のことだから、ひょっとするとその道の大家が、手ならしに唸るような絵を描かているんじゃないかと思った。勝手ながら拍子抜け。それにしても、人の行き交う中で何かを書きとめるという行為は人の気をひきもの。なかなかおもしろい。

2014/1/27 春を呼ぶ

ふたたび寒さ増す。でも陽射しは春めく。それにつられてか、一気に春の装いの女性を駅でみかけた。エリのない白の軽いコート、足首の見える白のパンツ。遠目ながら鮮烈な印象、今日はちょっと寒いと思うけど。1月も残りわずか、立春もすぐ。春を先取りする女性たちが春を呼ぶ街の風景。